



登録文化財保存活用シンポジウム（その2）

「登録有形文化財の保存と活用—最近の展開と課題—」

地域固有の文化遺産の現状・課題について考え、未来を展望する場としてのシンポジウムの2回目です。今回は、その1での東京と秋田からの報告に引き続き、群馬から報告いただいた後、文化庁の登録有形文化財担当調査官に登録有形文化財の保存・活用を巡る状況についてお話しただき、これからの登録文化財のあり方を考えるとともに、全国各地で様々な取り組みをされている方との交流の場になればと考えています。登録文化財の所有者の方はもちろん、文化遺産の保存活用にご関心をお持ちのみなさまのご参加をお待ちします。

◆日時 2018年1月30日（火）14:00～16:45（受付13:45～）

◆会場 愛知県立大学サテライトキャンパス

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 愛知県産業労働センター（ウィンクあいち15階）

<http://www.winc-aichi.jp/access/>

◆プログラム

| 開催時間 | 内 容 |
|-----------------------------|---|
| 14:00～ 14:45 | <p>群馬からの報告「ノコギリ屋根を活かしたまちづくり」 講師：群馬登文協会長 北川紘一郎氏（無鄰館館長） 無鄰館はノコギリ屋根の織物工場の保存・活用のための先進的取組みで、産業に係る登録文化財が多い群馬を象徴する登録文化財です。桐生ユネスコ協会、桐生・世界遺産の会会長としても奮闘されているお話も含めお話しいただく予定です。</p>  |
| 14:45～ 15:30 (休憩) | <p>登録有形文化財の保存・活用をめぐる状況 講師：文化庁 文化財調査官 金井健氏 登録文化財の制度ができて21年。登録件数は11,000件を超えましたが、登録有形文化財が1件もないという市町村が全国で半数近くあります。登録文化財をめぐる課題とともに全国各地での興味深い保存・活用の事例もご紹介いただく予定です。</p> |
| 15:45～ 16:45 | <p>意見交換「登録有形文化財の保存と活用—最近の展開と課題—」 愛知登文会小栗会長をコーディネーターとして、参加者の皆さんも交えて意見交換を行います。</p> |

申込先：FAX 052-961-0561 愛知登文会 行【申込締切：1月28日（日）】

| 参加申込書 | | | | |
|----------------------|-----|------|------|-----|
| 種別（○印を） | 正会員 | 特別会員 | 賛助会員 | その他 |
| お名前 | | | TEL | |
| 所有文化財名 又は所属（企業名等） | | | | |

愛知登文会事務局 名古屋テレビ塔株式会社内
 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目6番15号先
 TEL (052)-971-8546 FAX (052)-961-0561
 E-mail info@aichi-tobunkai.org
 ホームページ <http://www.aichi-tobunkai.org/>
 フェイスブック <https://www.facebook.com/aichi.tobunkai>

◇主催
愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

◇助成
平成29年度文化庁文化芸術振興補助金
「文化遺産総合活用推進事業」

